

審 議 結 果

会 議 名	盛人大学運営委員会第4回委員会
開 催 日 時	令和4年2月2日(水) 10時00分から10時25分
開 催 場 所	かわぐち市民パートナーズステーション会議室1・2
出 席 者	仲川副委員長、石坂委員、中村委員、廣瀬委員、飯塚委員、相京委員、 岩澤委員 五十川課長、船津課長補佐、本間主事、宮田主事、石井主事
議 題	1 開会 2 議事 (1) 協議事項 令和4年度の講師料及び受講料について (2) その他 3 閉会
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
会 議 資 料	資料1 令和4年度の講師料及び受講料について 参考資料 第3回盛人大学運営委員会審議結果
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審 議 経 過

第4回委員会

1 開会（10時00分）

- ・ 盛人大学運営委員会設置要綱第4条第3項の規定により副委員長が委員長の職務を代理する旨を説明。
- ・ 副委員長から挨拶。
- ・ 事務局から配布資料について説明。
- ・ 事務局から出席委員数が委員定数の過半数に達しているため、盛人大学運営委員会設置要綱第6条第2項の規定により本委員会が成立している旨を報告。
- ・ 副委員長から会議録署名人を選任。
- ・ 事務局から本会議の公開と傍聴について説明。

2 議事

(1) 協議事項

令和4年度の講師料及び受講料コースについて

○副委員長

規定により議長を務める。委員の慎重かつ積極的な審議とスムーズな議事進行への協力をお願いする。2 議事（1）協議事項 令和4年度の講師料及び受講料について事務局の説明を求める。

○事務局

1 ページの資料1 をご覧いただきたい。

農業体験コースについては、前回の運営委員会にて決定したため、本日は他8コースについてお諮りさせていただく。

前回の運営委員会において、令和4年度盛人大学実施に際し、新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度同様、募集定員を減らして実施すること、募集定員減により、収納され

る受講料が大幅に減額されることを説明させていただいた。そこで、受講料収入減の対策として、コロナ禍で募集定員を制限している期間は、1「基本的な考え」の(1)アによらず、講師料上限を各コース一律2万円減額とすることについてお諮りしたところ、「上限金額まで支出するコースが全コースでないのであれば再考すべき」とのご意見を頂戴した。このご意見を受け、12月11日開催の盛人大学実行委員会にて、運営委員会の意見を報告し、講師料を20万円希望するコースの申し出を受けた。その結果が2「令和4年度の講師料及び受講料(案)」の令和4年度(案)の表、左から2列目の講師謝礼金年額(a)のとおりであり、上限の20万円を希望したコースは2コース、合計1,665,000円となった。事務局で想定していた、18万円×8コースに農業コース38万円を足した合計1,820,000円より少なくなったため、講師謝礼金年額については、基本的な考えを変更することなく、各コースの希望額で決定させていただきたい。

次に受講料について説明させていただく。令和4年度(案)左から4列目、受講料(c)と2つ右隣の割合をご覧いただきたい。

各コースの受講料を令和3年度と同様とした場合、9コース合計の講師謝礼金年額に占める収入受講料は58.9%となり、1「基本的な考え」の(1)エにそぐわなくなる。しかし、これは募集定員を減らしている影響であり、仮に定員制限を解除した場合は、88.6%となる。このことを示す表が、定員制限解除の場合(参考)の表となる。定員制限解除の場合(参考)の表、定員上限(b)が本来の定員であり、その定員で収入受講料を計算すると一、番右の割合の合計欄のとおり88.6%となり「基本的な考え」に近くなる。

また、下段の表 ※令和3年度(第2回盛人大学運営委員会資料 参考)をご覧いただきたい。

令和3年度においても、9コース合計の講師謝礼金年額に占める収入受講料は57.5%となり、基本的な考えに沿っていないが、コロナ対策として定員を50%とした結果、講師謝礼金年額に対する収入受講料計の割合が80%に満たないため、特例の措置として認めてほしい旨を説明させていただいたところ、全会一致で承認いただいた。

前回の運営委員会でコロナ禍でも「受益者負担の考えは必要」との意見を頂戴したが、令和3年度受講料を決定した際と状況に変わりはないこと、受講生の健康と開講の安定性を鑑み定員削減での募集としていることから、令和4年度の受講料についても、令和3年度受講料と同額を提案させていただく。

○副委員長

今の説明について、ご意見・質問はあるか。

○委員

定員上限の50%は確定なのか、それとも段階的に10%ずつ増やしていくなど柔軟に対応できるのか。

○事務局

募集定員については盛人大学実行委員会で諮っており、令和4年度はコロナ対策で50%と決定している。50%という数字は、まん延防止等重点措置等が発令された場合は公共施設の定員が50%になるため、定員を50%としている。

○副委員長

他にご意見・質問はあるか。

○委員

定員が50%とのことだが、心理カウンセリング入門コースは30名なのか。

○事務局

キャンパスを並木分室からパートナーステーションに移した際に各コースの時間割と部屋割りを行った。心理カウンセリング入門コースは他のコースと被らず、会議室を1から3まですべて使用することができるため、定員を50%にすることなく30名の受講が可能となる。全コースが定員50%ではなく、ほとんどのコースが定員50%ということである。

○副委員長

使用できる会議室の大きさによって、定員の50%を超えないように調整しているということでしょうか。

○事務局

その通りである。

○副委員長

他にご意見・質問はあるか。

○委員

講師謝礼金上限について、20万円の申し出があったのは心理カウンセリング入門コースと国際コースのみということで、トラブルはなかったということでよいか。

○事務局

20万円の申し出があったのは2コースだが、18万円以内に収めたコースからも金額の引き上げの申し出があった。実行委員会のご協力のおかげで、表のとおりで確定した。

○副委員長

他にご意見・質問はあるか。

○委員

定員を50%にしたことにより、受講できなかった人から、なぜ受講できないのか等の意見はなかったか。

○事務局

昨年の募集期間は緊急事態宣言下ということもあり、市民や受講生の警戒心が強かったように思う。事務局も盛人大学を開講すべきか検討したが、対策を立て、定員を50%にして開講した。受講生が少なく物足りないという意見や、反対に講義を行うのかとの意見もあったが、ワクチン接種が進んできているため、今後もコロナ対策を行いながら安定的に講義を行いたい。

○副委員長

他にご意見・質問はあるか。

○委員

(特になし)

(2) その他

○副委員長

事務局から連絡事項等あるか。

○事務局

委員の皆様の任期は2年間であり、令和4年5月27日までとなっている。突発的な事案が生じなければ、今回が最後の委員会となる。委員の皆様からいただいた意見等を参考に、今後盛人大学をより良いものにしていきたい。2年間に渡り、ご指導・ご鞭撻いただいたことに改めてお礼を申し上げます。

○副委員長

本日が最後の委員会となるが、なにかご意見等あるか。

○委員

自身が西川口に住んでいるため、盛人大学のキャンパスが西川口に戻ることを切に願う。

○副委員長

他にあるか。

○委員

勤務している大学では4月より対面授業が全面解禁となり、ウィズコロナの動きが進んでいる。今後、定員を段階的に増やしていくことや、コロナが収束してきた場合に柔軟に対応できるよう、余地を残しておいたほうがよいのではないか。また、オンライン講義等、さまざまな試みを進めていただきたい。

○副委員長

他にあるか。

○委員

振り返ると、キャンパスの移転やコロナ禍での開講と、盛人大学にとって大きな変化があった2年間であった。変化のなかで無事に盛人大学を継続することができ、コロナ禍でも盛人大学を続けてほしいという意見があったこともよかった。盛人大学もオンライン講義を取り入れ

るなど、柔軟な対応を考えていくべきだと思う。

○副委員長

社会の変化とともに盛人大学を継続するにあたり、いかに柔軟に対応できるかが今後の課題であると思う。この課題を次年度の運営委員と事務局に引き継ぎたい。

他になにかご意見等あるか。

○委員

(特になし)

4 閉会（10時25分）

○事務局

これをもって、第4回盛人大学運営委員会を終了する。

会議の内容については、以上のとおりです。

令和 4年 2月25日

盛人大学運営委員会副委員長

(仲川副委員長署名)

.....

盛人大学運営委員会委員

(廣瀬委員署名)
